

平成 24 年

第 4 回宮古島市議会 (臨時会) 会議録

= 臨 時 会 =

平成24年 7 月24日 (火) 1 日間

宮 古 島 市 議 会

## 目 次

◎ 第4回臨時会	
○ 招集告示	1
○ 上程案件処理結果	2
○ 応招議員名簿	3
○ 7月24日（議事日程第1号）	5
○ 会期及び日程	6
会議録署名議員の指名について	9
会期を定めることについて	9
議案審議	9

宮古島市告示第76号

平成24年第4回宮古島市議会（臨時会）を次のとおり招集する。

平成24年7月17日

宮古島市長 下地敏彦

- 1 期 日 平成24年7月24日（火）
- 2 場 所 宮古島市議会議事堂
- 3 付議事件
  - （1）平成24年度宮古島市一般会計補正予算（第2号）
  - （2）平成24年度「宮古島市来間島再生可能エネルギー100%自活実証事業」に係るシステム構築業務委託契約について

## 上 程 案 件 処 理 結 果

議案番号	件 名	提 案 者	提出月日	処理月日	結 果
議案 第74号	平成24年度宮古島市一般会計補正予算(第2号)	市 長	平成24年 7月24日	平成24年 7月24日	原案可決
議案 第75号	平成24年度「宮古島市来間島再生可能エネルギー100%自活実証事業」に係るシステム構築業務委託契約について	”	”	”	”

開会日（7月24日）に応招した議員

平	良		隆	議員	龜	濱	玲	子	議員
富	永	元	順	”	前	里	光	恵	”
高	吉	幸	光	”	山	里	雅	彦	”
西	里	芳	明	”	上	地	博	通	”
下	地	博	盛	”	下	地		明	”
長	崎	富	夫	”	佐久	本	洋	介	”
前	川	尚	誼	”	新	城	啓	世	”
上	里		樹	”	嘉手	納		学	”
嵩	原		弘	”	垣	花	健	志	”
棚	原	芳	樹	”	池	間		豊	”
砂	川	明	寛	”	下	地		智	”
眞	榮	城	徳	”	新	里		聰	”
新	城	元	吉	”					

平成 24 年

# 第 4 回宮古島市議会 (臨時会) 会議録

平成24年 7 月24日 (火)

(議案上程、説明、聴取、質疑、討論、表決)

平成24年第4回宮古島市議会臨時会議事日程第1号

平成24年7月24日(火) 午前10時開会

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について  
" 第 2 会期を定めることについて  
" 第 3 議案第74号 平成24年度宮古島市一般会計補正予算(第2号) (市長提出)  
" 第 4 " 第75号 平成24年度「宮古島市来間島再生可能エネルギー100%自活実証事業」  
に係るシステム構築業務委託契約について ( " )

◎会議に付した事件

議事日程に同じ

平成24年第4回宮古島市議会臨時会会期日程計画表

平成24年7月24日（火）午前10時開会

月 日	曜	種 別	日 程	摘 要
7月24日	火	本会議	会議録署名議員の指名 会期の決定 議案上程、説明、聴取、質疑、討論、表決	

会期=1日



平成24年第4回宮古島市議会臨時会会議録

平成24年7月24日

(開会=午前10時00分)

◎出席議員(25名)

(閉会=午前10時46分)

議長(4番)	平良隆	議員(13番)	新城元吉
副議長(23番)	富永元順	"(14番)	亀濱玲子
議員(1番)	高吉幸光	"(15番)	前里光恵
"(3番)	西里芳明	"(16番)	山里雅彦
"(5番)	下地博盛	"(17番)	上地博通
"(6番)	長崎富夫	"(18番)	下地明介
"(7番)	前川尚誼	"(19番)	佐久本洋啓
"(8番)	上里樹	"(20番)	新城啓世
"(9番)	嵩原弘	"(21番)	嘉手納学志
"(10番)	棚原芳樹	"(22番)	垣花健
"(11番)	砂川明寛	"(24番)	池間豊智
"(12番)	眞榮城徳彦	"(25番)	下地智
		"(26番)	新里聰

◎欠席議員(1名)

議員(2番) 仲間則人

◎説明員

市長	下地敏彦	教育長	川満弘志
副市長	長濱政治	教育部長	田場秀樹
企画政策部長	古堅宗和	総務課長	砂川一弘
総務部長	安谷屋政秀	兼行財政改革班長	仲宗根均
農林水産部長	上地廣敏	財政課長	

◎議会事務局職員出席者

事務局長 荷川取辰美 議事係 池村達明  
 次長 伊波則知  
 議事係長 仲間清人

平成24年第4回宮古島市議会臨時会諸般の報告書

平成24年7月24日(火)

	<p>去った6月定例会において議決されました意見書4件及び決議の1件について、意見書は6月27日付で、また、決議の米国大統領等宛については7月5日付でそれぞれ送付した。</p>
6月29日	<p>城辺福嶺地区で開所した「小規模多機能型居宅介護事業所ぷくんみ」の開所祝でありさつを述べた。</p>
7月1日	<p>地下ダム資料館周辺を会場に開催された「宮古水まつり2012」に参加した。</p>
7月3日～ 6日	<p>総務財政委員会の委員会視察が実施され、東京都において「複式簿記・発生主義会計について」、千葉県茂原市において「天然ガス関係」を視察し、研修を深めた。</p>
7月6日	<p>「漲水学園・あけぼの学園新館落成式典及び祝賀会」で祝辞を述べた。</p>
7月8日	<p>宮古島市熱帯植物園で開催された「第3回マンゴーまつり」で激励のあいさつを述べた。</p>
7月9日	<p>那覇市議会内において「平成23年度沖縄県市議会議長会の決算」について監査を行った。</p>
7月10日	<p>庁舎6階会議室で開催された「第3回エコアイランド宮古島マラソン実行委員会総会」に出席した。</p>
7月12日～ 14日	<p>鹿児島県鹿屋市で開催された「平成24年度全国ハンセン病療養所所在市町村連絡協議会総会」に出席した。</p>
7月17日	<p>下地敏彦市長から平成24年第4回臨時会の招集告示をした旨の通知とともに付議すべき議案の送付があった。</p>
7月18日	<p>「平成24年産宮古葉たばこ取扱所開所式」で激励のあいさつを述べた。</p>
7月19日	<p>議会運営委員会が開催され、諮問した会期については、本日7月24日の1日とするのが適当であると決した。</p> <p>また、同日の委員会では、議会運営に関する申し合わせの改正及び追加が協議され、これまで4日間で行ってきた一般質問を5日間に改め、さらに、「意見書・決議案について、議会運営委員会による本会議提案を求める委員は、委員会に対し正案を提出するものとする。」との追加が決定された。</p>
7月20日～ 21日	<p>「宮古島夏まつり2012」関連行事等に参加した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

◎議長（平良 隆）

ただいまから平成24年第4回宮古島市議会臨時会を開会いたします。

（開会＝午前10時00分）

本日の出席議員は25名で、定足数に達しております。

本日の日程は、お手元にお配りした議事日程第1号のとおりであります。

直ちに本日の会議を開きます。

日程に入ります前に、諸般の報告書についてはお手元に配付いたしましたので、ご了承願います。

これより日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、議長において砂川明寛議員と前川尚誼議員を指名いたします。

次に、日程第2、会期を定めることについてを議題といたします。

お諮りいたします。今臨時会の会期は、本日7月24日の1日といたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

◎議長（平良 隆）

ご異議なしと認めます。

よって、会期は1日と決しました。

次に、日程第3、議案第74号及び日程第4、議案第75号の2件を一括議題とし、提案者から提案理由の説明を求めます。

◎市長（下地敏彦）

平成24年第4回宮古島市議会臨時会に提出しました議案についてご説明申し上げます。

今回提出しました議案は、予算議案1件、議決議案1件の合計2件であります。

最初に、議案第74号、平成24年度宮古島市一般会計補正予算（第2号）についてご説明申し上げます。今回の補正は、3,360万6,000円の補正増で、補正後の歳入歳出総額をそれぞれ350億6,449万6,000円と定めてあります。

次に、議案第75号、議決議案についてご説明申し上げます。議案第75号、平成24年度「宮古島市来間島再生可能エネルギー100%自活実証事業」に係るシステム構築業務委託契約について。平成24年度「宮古島市来間島再生可能エネルギー100%自活実証事業」に係るシステム構築業務委託契約については、宮古島市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を必要とするため、本案を提出します。

以上、今回提出しました議案についてご説明を申し上げました。慎重なるご審議の上、議決を賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（平良 隆）

これで提案理由の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。質疑があれば発言を許します。

◎前里光恵議員

議案第75号、平成24年度「宮古島市来間島再生可能エネルギー100%自活実証事業」に係るシステム構築業務委託契約について質疑をいたします。

まず、これまでのですね、この事業の進捗率、予算ベースでよろしいですので、どのくらいか。それから2点目に、事業の内容ですね、概要。それから、この事業の最終事業終了年度、これいつごろになるのかお伺いします。

◎企画政策部長（古堅宗和）

島嶼型スマートコミュニティ実証事業であります。平成23年度から平成26年度までの4カ年間の実証事業であります。昨年、平成23年度で1億2,571万円の事業として実施をしたところでありまして、平成24年度につきましては当初予算9億5,900万円に対しまして6月定例会で補正をお願いをし、10億1,640万円という予算になってございます。平成23年度で設計システムの事業をしまして、平成24年度ではそのシステムの構築化、その他を進めております。平成25年度につきましては蓄電池、太陽光発電の一部の設置、平成26年度につきましてはそういったシステム構築をなされた事業についての検証、いわゆる消費電力、それからそういったデータをですね、来間島全体で実証化するというような内容になってございます。

◎前里光恵議員

事業の検証は平成26年度で終了ということですか、それともその後も続くんですか。

◎企画政策部長（古堅宗和）

実証事業ですので、その一定期間の間の実証ということで、平成23年度から平成25年度、あるいは平成25年度の途中まではですね、そのシステムの構築あるいは機材の設置等にかかりますが、平成25年度の途中から平成26年度全般にわたっては、その設計されたシステム内での電力の検証ということになります。そのデータの実証がその結果となりますので、この実証研究のですね。その後については、この機材を使った有効な利用というようなものを今後検討してまいりたいと思っております。これは、県と国と調整をしているところであります。

◎議長（平良 隆）

ほかに質疑はございませんか。

◎亀濱玲子議員

私もこの議案第75号、平成24年度「宮古島市来間島再生可能エネルギー100%自活実証事業」に係るシステム構築業務委託契約について、関連して質疑をさせていただきます。

今、実証事業が平成26年度までというふうにしてお話があったんですが、例えばサトウキビを使った実証事業がこの間何かさまざま、その次具体的にどうするのというようなことなんか問題になって、そのときになって考えるというんでは、やっぱりそれはまずいだろうというふうに思います。具体的にこの実証事業が終わった先に、今有効利用というふうにおっしゃったんですが、具体的にどういうふうにも有効利用していくというふうにして市のほうでは計画されているのかということをお聞かせください。

◎企画政策部長（古堅宗和）

まず、実証事業を終えましてですね、その後極端に言えば当市におけるメリット、あるいはその地域におけるメリットということですが、全体的な大きな考えでいいますと、確かに低炭素社会をつくると、あるいは地球温暖化の問題とかそういった問題がありますが、ただそれを地域コミュニティーに置きかえて

考えた場合ですね、この再生可能エネルギーを活用した来間島という確定された地域で防災の観点、いわゆる台風ですとか地震ですとか、そういった防災でエネルギーが切断されたという、本島からですね。宮古本島から切断されたときにどういふふうにして対応するか、そういったものの自活実証事業というものにもつながるといふことであります。そういったもので再生可能エネルギーとしての太陽光を使用するといふようなことですね。

それから、あと1点のメリットとしましては、宮古島市が環境モデル都市としてこれだけいろんな施設を整備をしまいいりましたけど、その一環として再生可能エネルギーを使った環境に配慮したエネルギー対策、そういったものが全てエコツアーでありますとかそういった観光資源にもなるだろうといふようなことで全国に発信をしていけるといふことであります。

それから、今回の取り組みはですね、全国というよりも世界的に非常に注目をされておりまして、そういった取り組みの中でかなり全国的にも、あるいは世界的にも宮古のデータが発信されるといふようなことから、宮古の知名度を上げるためにも非常に役立っているのかなと思っております。

#### ◎亀濱玲子議員

大体わかりました。もう少し具体的にお伺いしたいんですが、これまで委員会を設置して答申したもののの中に、来間島再生可能エネルギー100%自活実証事業といふの、説明でこういうふうに書いてあるんですね。来間島内に太陽光発電設備を大量に設置するほか、西平安名崎や七又などにある風力発電で発電している電力が来間島へ供給できると仮定し、電力エネルギー源の100%の再生可能エネルギーを賄うことのできるシステムを目指すと書いてありますけど、これは例えば今現在80世帯ぐらい向こうはあるんですかね。これは、具体的には来間島全体が日常生活においてもそれを活用して生活できるといふことを仮定してやるのか、それとも実証を、これネット開いてもかなり注目されているといふのよくわかるんですよ。なので、意外に島内でそれが、一体これがどういふふうに島内に使われていくかといふことが少しわかりづらいので、このあたりが具体的に生活の中でどう利用されていくのかといふ点でお答えいただきたいと思っております。

#### ◎企画政策部長（古堅宗和）

来間島再生可能エネルギー100%自活実証事業としてのまずご説明をしたいと思っておりますが、事業の実施内容はですね、その88世帯ございますが、まず一番最初にやりましたのが公共施設に太陽光発電設備を設置して、公共施設の電気消費情報をデータ化しようといふようなものがございました。それから、88世帯の各住宅にですね、太陽光発電設備を設置しまして、その発電情報をまずサーバーで受ける、そして消費状況も受ける。それから、そういったデータが蓄電池のほうに流れまして、蓄電池のほうで発電したものを充電する。それから、消費情報を受ける形の中でですね、例えば今ちょっと足りないよとなれば、その情報として放電の情報を流す。そして、放電の情報を流したものが各家庭に流れるといふようなことで、スマートコミュニティの事業といふふうになりますが、コミュニティはその地域、スマートといふのは賢いという意味で、いわゆる賢い使い方をするといふようなことであります。そういったことになってまずデータが出ますので、データが出て、見える化といふデータが見える、そして賢い使い方をその住まわれている人もやりますし、実際蓄電池でもそれを実験的にやるといふようなことから、消費電力をですね、基本的には減らすといふようなことになります。そういった状況を来間島でやろうと。同時に各家庭

あるいは公共施設に太陽光発電設備を設置することによって、できるだけ災害にも強い自活実証事業をしようというようなことであります。また、それだけのデータを入れるという前提です、ただいま法規制があってですね、全部が全部そういった形でできませんので、一部は見なし電力という形になります。

◎亀濱玲子議員

1点だけ。これは、実証事業が終わっても、実際にみんな生活の中で使い続けるというようなことを仮定をしてやっていらっしゃるんですか。

◎企画政策部長（古堅宗和）

来間島で太陽光発電設備設置をしたものについてはですね、実証期間が終わってもそのまま続けるというふうになっています。

◎新城元吉議員

大体この事業の意義については十分理解しましたんですけど、請求書の中にですね、七又で太陽光発電が出たときに、その実証実験に伴う電気料の負担が別に別項目で請求書、みんなついてきていますね。普通は、あれだけの施設だから電気料が安くなるだろうと、以前の定例会でも西里芳明議員から質問があったりしたんですけども、そういう形に受けとめられていて、来間島でこの事業が実現すると、来間島の方々は全部電気料がただになるんじゃないかというような期待を持っている方々もいらっしゃると思います。そういうわけで、具体的にですね、じゃ電気の供給、いろんな災害とかそういうのを含めてね、電気の供給が万が一ストップしたときどうなるかとか、それは今までどおり沖縄電力によって電力は供給されるのか、それから世帯、世帯の電気料金は、七又の例に従えば、実証実験ですから、その負担は市民がやっているわけですね。幾らかの負担が電気料金に上乗せされてきています。そういうような形での電気料金の設定になっているのか、あるいは来間島は、繰り返すようなんですけど、この実験によってその期間中は電気料の一切負担がないのかどうか、その点も非常に関心のあることなんですけど、市民にとっては、その辺がどうなっているか、具体的にお示しいただきたいです。

◎企画政策部長（古堅宗和）

電気料金のお話ですが、電気料金の賦課についてはですね、たしか前の議会でも答弁しましたが、例えば七又でやっているから宮古が高いというんじゃなくて、全県的な、あるいは全国的なことで金額が決まってまいります。再生可能エネルギーは確かにふえていくと、若干全体的にふえていくということにはなると思うんですが、七又でやっているから宮古地区の皆さんがその分もふえるということではなくて、全県的ないわゆる電力会社の端的な賦課計算によるものでもありますので、これ全国的にもう法規制でそういうふうな買い取り制度ということになっておりますので、単に宮古に設置されたから、その宮古だけが高くなるということではありません。

◎新城元吉議員

今偶然に、七又海岸にできているあれだけの実証実験事業による、その後電気料金のほかに何十円か毎月負担が請求書についてきています。その金額というのは、使用電力量によって決まるんですけど、金額は。これ全国民が負担する形での料金体系の一部なんですか、それとも沖縄電力のテリトリーの中での負担金額なんですかということと、それから来間島でこの実証実験がいよいよ実証された場合に、それに伴って新たな全国民もしくは沖縄電力の供給に基づく電気料金は幾らかまた負担という形で今後請求さ

れると思われますか。

(「休憩してください」の声あり)

◎議長(平良 隆)

休憩します。

(休憩=午前10時22分)

再開いたします。

(再開=午前10時23分)

◎企画政策部長(古堅宗和)

再生可能エネルギーの対応に関して、その賦課金が全家庭の電気料金についてくるということでありまして、以前はですね、各電力会社単位で、その担当する地域ごとにその料金が決まっています、例えば沖縄県でしたら幾らと、現在大体沖縄県29円ぐらいですが、幾らというふうに、1円プラスなのか、2円プラスなのかというふうに決まっていたんですけど、現時点では全国ベースで、7月からですね、全量買い取り制度が決まりましたので、それによって全国的に一律の値段になっているということでありまして。

(「休憩してください」の声あり)

◎議長(平良 隆)

休憩します。

(休憩=午前10時24分)

再開します。

(再開=午前10時29分)

ほかに質疑はありませんか。

◎上里 樹議員

ただいまの議案第75号、平成24年度「宮古島市来間島再生可能エネルギー100%自活実証事業」に係るシステム構築業務委託契約についてですけども、大体総発電量どれぐらいを見込んでいるのかということと、あわせてせっかく地域のそういう再生エネルギーということなんで、それを地域経済にどう生かしていくかが必要だと思うんですね。いわゆる新城元吉議員がさっきから質疑の中で、住民の負担になっていくのか、国民の負担なのかという、そういうことなんですけども、それをせっかくその地域の資源を生かした開発でもって得た電源を地域の経済にどう生かしていくかということが必要だと思うんです。だから、その将来、実証実験後については今後検討していくというお話ですけれども、そういった今後の展望として、宮古にそれをどう市として生かしていくのかという関係でどうお考えなのか。さっき観光との関係、それから地域の防災との関係が言われました。それ以外に経済的な、観光以外の還元の方法がいろいろあるかと思うんですね。ほかにお考えのことがあればお聞かせください。

それから、議案第74号、平成24年度宮古島市一般会計補正予算(第2号)、歳出で6款の3目漁港管理費の中で漁港整備の委託料と工事請負費が計上されていますけども、どこの漁港でどのような工事をするのかお伺いします。

それから、9ページ、歳出の10款、1目の学校管理費で、これ学校施設の工事請負費が計上されていますけども、これもどこの学校でどのような工事になるのかお伺いします。

◎企画政策部長（古堅宗和）

電気の導入量の話ですが、先に設置をいたしました公共施設分と合わせまして、予定していますのが大体550キロワットでございます。それから、地域への影響についてですが、先ほど言いましたように防災ですとか、それから地域資源としてのエコ観光に関するものとか、あるいはそういったものを進めることによって地域でのですね、相乗効果、いろんな経済効果もあらわれてくるのではないかなと期待をしているところであります。

◎農林水産部長（上地廣敏）

補正予算の6款3項漁港管理費でありますけれども、これは久松漁港の排水路フェンスの工事、それからトイレの修繕工事であります。委託は設計の委託であります。

◎教育部長（田場秀樹）

10款教育費の2項小学校費ですけど、砂川小学校の校舎改築工事に伴う屋外附帯工事1,365万円、久松中学校の浄化槽移設工事で1,327万円となっております。

◎上里 樹議員

この自然エネルギーの関係ですけども、固定価格買い取り制度が国でスタートしています。そんな中で、各自治体はその自然再生エネルギーを企業誘致して開発を行うという、そういった事例がふえていますけれども、滋賀県の湖南市ですか、そこでは発電して得られた利益を商品券にして市民に還元するというのをやっているそうです。ですから、将来へのそういう宮古島市のこういった自然エネルギーの開発のあり方として、一つの形を変えたね、例えば条例を制定するなりなんなりして、その地域で売電した利益が地域経済の活性化につながるようなシステム構築、これにつながるというかなど。質疑で要望を言うのもなんですけども、いろいろ検討してみる必要があると思いますので、よろしく。

それから、今教育部長がお答えになりましたけども、学校の外構工事の関係について、もう少し詳しく、どのような工事なのかお伺いします。附帯外構工事という説明がありましたけども、どのような工事なのか。

◎教育部長（田場秀樹）

砂川小学校の校舎が今度新しくなりました。それに伴って、校舎回りのほうがまだ整備されていない状況でそのままありましたので、その部分に関しての外構工事になっております。校舎全体的に周辺等の整備ということです。

久松中学校の浄化槽の移設については、新しく体育館を設置するに当たり、今ある場所でちょうど浄化槽がありますので、その部分を移設するという工事でございます。

◎富永元順議員

議案第74号、平成24年度宮古島市一般会計補正予算（第2号）のですね、歳入のふるさとまちづくり応援基金繰入金103万8,000円ありますけれども、この中身からの歳出があったのかどうかですね。

それから、教育費、歳出の。宮古島市ジュニアオーケストラ東京公演39万5,000円の補正がされておりますけれども、何かすばらしいね、宮古島市にジュニアオーケストラが結成されて、天野誠先生ですかね。が多分団長だと思いますけれども、これが東京公演するということすばらしいことだと思っております。それについて、教育委員会としてどういった、東京公演に、なかなか新聞にはですね、このジュニアオー



ケストラに何か補助金が出ているような、そういう誤解を与えるような報道があったようにも聞いております。でも今回39万5,000円の補正も組まれておりますけども、教育委員会の取り組みというか、かかわりというんですか、それについて、今後のことも含めてですね、お聞きしたいと思います。よろしくお願いいたします。

◎総務部長（安谷屋政秀）

ふるさとまちづくり応援基金繰入金ですね、103万8,000円の内訳、これはですね、今現在ふるさと納税の予算額は2,704万1,000円あります、基金として。そのうちの103万8,000円を見込んでおりまして、これは歳出としましては室蘭市開港140年・市制施行90年記念式典の出席のための引率者と生徒の旅費に充てております。これはコースとしましては、市長お任せコースでやってあります。

◎教育長（川満弘志）

宮古島市ジュニアオーケストラには、市のほうから補助は一切出てはおりません。今回のものは、東京公演に際してぜひ子供たちを激励をして、また宮古島をアピールしていただきたいという要請がございましたので、それに伴っての出張旅費をお願いしているところでございます。

◎富永元順議員

教育費の宮古島市ジュニアオーケストラ東京公演、今ジュニアオーケストラ、何名ぐらいの団員がいてですね、今後やっぱり教育長は今補助金はないと言っておりますけども、こういったすばらしい団体にできれば宮古島市からも補助金等をやっぱりやることによって、その会が活発になって、また次年度以降もね、こういった東京公演、すばらしい宮古島の子供たちのね、そういう公演ができるということは宮古の教育にとってもこれは大きなプラスになっていくと思いますけれども、今後こういったジュニアオーケストラに補助金をですね、これをやっていく考えはないのかどうか、これは教育長か市長か、よろしくお願いいたします。

◎市長（下地敏彦）

考え方なんですけれどもね、例えば今言うジュニアオーケストラ、あるいは合唱団、あるいは吹奏楽団、それぞれかなりいいレベルのものを持っていて、九州大会、全国大会というふうにかなりもう出かけるようになっていて、父兄の負担というのも大変になっているなというふうには思っているんですよ。私の考え方としては、例えば体育団体の場合ですね、野球だとかバスケットとかバレーとかそれぞれの協会がございまして。それぞれの協会に補助金を出すというよりも、体協に一括して出して、そして体協が全体を統括しているわけだから、それで考えるという形のほうが望ましいと思っているんです。同じように、そういう音楽関係の例えば音楽協会みたいなものをつくってもらって、そこで宮古のそういう音楽のレベルアップを図るというふうな形の仕組みをつくってもらったほうが、私どもの補助金の流れという形にしても、あるいは音楽のレベル全体を上げるという考え方からしても、私はそのほうが望ましいと思っています。できればそんなのをつくっていただきたいと、そうすれば支援もやりやすいなと思っています。

◎議長（平良 隆）

ほかに質疑はございませんか。

（「質疑なし」の声多数あり）

◎議長（平良 隆）

これにて質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております2件については、会議規則第37条第3項の規定により委員会の付託を省略し、直ちに処理したいと思っております。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声多数あり)

◎議長(平良 隆)

ご異議なしと認めます。

よって、そのとおり決しました。

これより討論に入ります。

まず、日程第3、議案第74号、平成24年度宮古島市一般会計補正予算(第2号)に対する討論の発言を許します。

(「討論なし」の声多数あり)

◎議長(平良 隆)

これにて討論を終結いたします。

これより議案第74号を採決いたします。

本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声多数あり)

◎議長(平良 隆)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第74号は可決されました。

次に、日程第4、議案第75号、平成24年度「宮古島市来間島再生可能エネルギー100%自活実証事業」に係るシステム構築業務委託契約について討論の発言を許します。

(「討論なし」の声多数あり)

◎議長(平良 隆)

これにて討論を終結いたします。

これより議案第75号を採決いたします。

本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声多数あり)

◎議長(平良 隆)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第75号は可決されました。

これで今臨時会に付議された案件の審議は終了いたしました。

お諮りいたします。今臨時会において議決された各議案について、会議規則第43条の規定による条項、字句、数字、その他の整理を要するものについては、これを議長に委任されたいと思っております。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声多数あり)

◎議長(平良 隆)

ご異議なしと認めます。

よって、そのとおり決しました。

これをもって平成24年第4回宮古島市議会臨時会を閉会いたします。

(閉会=午前10時46分)

上記のとおり会議の顛末を記載し、相違なきことを証する為ここに署名する。

平成24年7月24日

宮古島市議会

議 長 平 良 隆

議 員 砂 川 明 寛

” 前 川 尚 誼